

平成 26 年度 郷土づくりシンポジウム

「大雨による大規模な斜面崩壊を知る」

主 催 : (一社) 鳥取県測量設計業協会

後 援 : 国土交通省中国地方整備局鳥取河川国道事務所
鳥 取 県

- ◆ 主 旨 : 平成 23 年には台風 12 号の豪雨により紀伊半島で深層崩壊が発生し、多くの天然ダムが形成されました。当協会では 6 月に奈良県の赤谷、宇井地区の深層崩壊の災害地を訪れ、大規模な被害とその対策工を視察しました。

また、鳥取大学の小玉芳敬教授は、鳥取県の三朝町小鹿川流域において、今から約 3 万 4 千年前大規模斜面崩壊が発生し、天然ダムが形成され、その後決壊し大洪水が起きた形跡が見られると発表しておられます。

本シンポジウムでは、奈良県の深層崩壊と鳥取県三朝町の大規模崩壊跡地から両者の崩壊メカニズムを学び、将来、県内において大規模な斜面崩壊が発生する危険性を考えます。



- ◆ 日 時 : 2014 年 9 月 17 日 (水) 13:00~17:20 (受付 12:30~)
- ◆ 場 所 : とりぎん文化会館 第一会議室
鳥取市尚徳町 101-5 TEL 0857-21-8700
- ◆ 参加費 : 無 料
一般聴講者は、当日会場へお越しく下さい。
定員 (200 名) になり次第、締め切らせていただきます。

《プログラム》

開 会 挨 拶	(一社) 鳥取県測量設計業協会 会 長 大野木 昭夫	13:00~13:05
来 賓 挨 拶	国土交通省中国地方整備局 鳥取河川国道事務所 所 長 望月 拓郎	13:05~13:10
	鳥取県県土整備部 部 長 長谷川 具章	13:10~13:15
【第 1 部】		
奈良県十津川村災害視察報告	(一社) 鳥取県測量設計業協会総務委員会 副委員長 小林 正基	13:15~13:30
「紀伊半島における深層崩壊について」	奈良県県土マネジメント部深層崩壊対策室 室 長 永田 雅一	13:30~14:20 (質疑)
基調講演		
「なぜ、三朝町小鹿川下流域には段丘状の「特異な地形」が残っているのか」	鳥取大学地域学部地域環境学科 教 授 小玉 芳敬	14:25~15:15 (質疑)
	- 休 憩 -	15:20~15:30
【第 2 部】		
パネルディスカッション		15:30~17:15
「将来、県内において大規模な斜面崩壊が発生する危険性はあるのか」		
司 会	(一社) 鳥取県測量設計業協会会長	大野木 昭夫
パネラー	鳥取大学地域学部地域環境学科教授	小玉 芳敬
	奈良県県土マネジメント部深層崩壊対策室室長	永田 雅一
	鳥取県県土整備部次長	山口 真司
		(質疑)
閉 会 挨 拶	(一社) 鳥取県測量設計業協会総務委員会 委員長 大西 幸人	~17:20